

社会資本総合整備計画

くれちゅうおう ちく と し さいせいせい びけいかく
呉中央地区都市再生整備計画

広島県 呉市

平成26年12月

都市再生整備計画(第6回変更)

くれちゅうおうちく
呉中央地区

広島県 くれし
呉市

平成26年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	広島県	市町村名	呉市	地区名	呉中央地区	面積	180 ha
計画期間	平成 24 年度	～	平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度	～	平成 28 年度

目標							
大目標:安全・安心なまちづくり、地域交流を推進するまちづくり							
目標1	災害時における支援活動スペースや公園の整備により、災害から市民の生命と財産を守る防災拠点として強化を図る。						
目標2	市民ホールや市民協働スペースの整備により、地域間・世代間交流を推進し、市民のきずなを深める活動を促進する。						
目標3	身近にある橋梁や道路・照明灯の再整備により、防災性・安全性を向上させ、安心・快適に利用できる移動空間を形成する。						

目標設定の根拠							
まちづくりの経緯及び現況							
<p>呉市は、瀬戸内海のほぼ中央部、広島県の南西部に位置し、瀬戸内海に面する陸地部と、倉橋島や安芸灘諸島などの島嶼部で構成される気候温和で自然環境に恵まれた都市である。明治時代以降は、帝国海軍・海上自衛隊の拠点となっており、人口は約24万人で広島県内では3番目に多い。また、造船・鉄鋼・バルブ・機械・金属などを中心とした臨海工業都市として発展している。生活圏の広域化と地方分権が進展する中、効率的・効果的な行財政運営や魅力あるまちづくりが強く求められるようになり、平成15年から平成17年にかけて近隣8町と合併し、新「呉市」となった。市町村合併を経た現在、更なる発展のため、地域の特性を活かして市民ニーズに対応した特色ある施策を積極的に展開しており、同時に行財政基盤の確立や広域連携の促進も図っている。</p> <p>呉中央地区は、市役所や消防署、主要な官庁施設、中央公民館やすこやかセンターくれ等の公益施設、文化ホールや図書館等の文化施設が多く集積している行政の中心地である。また、行政のみならず商業の中心地でもあり、鉄道・道路など交通の要衝も有していることから、ヒト・モノ・コトの集積地となっており、呉一の都市型地区と言える。本地区は、特に公共空間・公共交通のバリアフリーに配慮した重点整備地区であるとともに、都市景観にも配慮した景観形成モデル地区にもなっており、誰もが安心・快適に暮らせる環境を目指している。一方で、道路や橋梁・市役所本庁舎など多くの公共施設においては耐震性が低く、老朽化も顕著に見られることから、安全性の向上にむけた再整備の必要性が高まってきている。公共施設の再整備のみならず、地域交流の充実や災害時の防災拠点施設・避難所等の整備によっても住民が安全安心快適に生活できるまちづくりを進めていく必要がある。</p>							
課題							
<p>○市役所本庁舎は、耐震性が著しく不足しており、安全性の向上を図る必要があるとともに、防災拠点として機能の強化が必要である。</p> <p>○災害時における支援団体の活動スペースが不足しているとともに、地域間・世代間交流の場や市民協働の拠点となる施設が不足している。</p> <p>○中央公園は、防災拠点となる市役所本庁舎と一体となり、避難場所・ボランティア活動等の拠点として整備を図る必要がある。</p> <p>○身近な道路や橋梁は危険箇所が増加しており、早期に補修等を行うことで安全性を高め、快適に過ごせる環境を整える必要がある。</p> <p>○災害時において避難ルートとなる道路や橋梁を再整備することで、交通不便の解消を行い、安全かつ円滑な交通を確保する必要がある。</p> <p>○地震直後から発生する緊急輸送を円滑確実に実施するために構造そのものに耐震性を確保し、ネットワークとしても機能する道路整備が必要である。</p> <p>○商業の中心地である中通商店街では、経年劣化による舗装の破損が著しく、歩行者(特に高齢者等の交通弱者)が安心して回遊できない状態にある。</p>							
将来ビジョン(中長期)							
<p>○大規模災害発生時において、防災拠点として利用する庁舎や公園の施設整備を促進し、被害を最小化するための減災対策を図り、災害に強い安全なまちづくりを目指す。</p> <p>○市民ホールや市民協働スペースの整備により、地域間・世代間の交流を図りつつ市民協働を推進し、「市民力」「地域力」が存分に発揮できる個性豊かで活力あるまちづくりを目指す。</p> <p>○災害時から市民を守る円滑な移動空間を確保することで、美しく快適に過ごせる都市環境を創出し、誰もが安全で安心して生活することができるまちづくりを目指す。</p> <p>○中通商店街の路面整備により、歩行者が安心・快適に回遊することのできるゆとりと潤いのある空間づくりを目指す。</p>							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
市民ホール年間稼働率	%	市民ホールの年間稼働率(年間稼働率=利用日数/開館日数)	社団法人全国公立文化施設協会「公立文化施設現況調査」を参考に同一規模のホールで中四国地区の平均年間稼働率47.3%を目標とする。	43.6	平成22年度	47.3	平成28年度
市民協働スペースの利用団体及び利用者数	件	市民協働スペース(防災活動支援スペース)の年間における利用団体及び利用者数	現在ある同施設(広市民センター内くれ市民協働センター)の過去最大利用数14,617件以上を目標とする。	12,919	平成22年度	14,617	平成28年度
緊急的に補修が必要な橋梁の割合	%	災害時において安全かつ円滑な交通を確保するために緊急的に補修を行う必要がある橋梁の割合	当該地区内の中でも特に災害時において主要な避難経路に支障をもたらす恐れが強いと判断された橋梁の割合減少を目指す。	32.0	平成23年度	14.0	平成28年度
中通商店街に対する満足度	%	アンケート調査により、中通商店街の歩行環境について満足であると答えた人の割合	中通商店街での安全安心・快適な歩行環境について満足であると答える人の割合を概ね増加させる。	20.0	平成25年度	30.0	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 災害時における支援活動スペースや公園の整備により、災害から市民の生命と財産を守る防災拠点として強化を図る。 ○市役所本庁舎と中央公園を一体とした防災拠点の整備を行うことで、市民の生命と財産を守り、安全・安心なまちづくりを推進する。 ○防災支援活動スペースを整備することで、災害対策本部と迅速かつ的確な連携を図り、防災性・安全性の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高次都市施設(基幹事業) 市民ホール及び市民協働スペース整備事業 ・(関連事業) 呉市役所本庁舎建設事業 ・(関連事業) 中央公園防災機能整備事業
<p>整備方針2 市民ホールや市民協働スペースの整備により、地域間・世代間交流を推進し、市民のきずなを深める活動を促進する。 ○平時には、防災支援活動スペースを市民協働スペースとして活用してもらうことで地域協働に向けての社会を推進する。 ○市民ホールを整備することで多くのイベントや催しを開催し、地域間・世代間の交流を深めていくことにより市民の強いきずなを形成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高次都市施設(基幹事業) 市民ホール及び市民協働スペース整備事業
<p>整備方針3 身近にある橋梁や道路・照明灯の再整備により、防災性・安全性を向上させ、安心・快適に利用できる移動空間を形成する。 ○既存の橋梁の補修により、大規模地震発生時の被害縮小を図り、防災性・安全性を高める。 ○狭隘な歩道を拡幅することで、安心して利用できる歩行空間を確保し、歩行者と車輛の動線の分離を図る。 ○道路や照明灯の維持向上を図る修繕により、移動の安全性を高め、円滑な交通を確保し、快適な生活環境の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路(基幹事業) 二河橋補修事業 ・道路(基幹事業) 役所橋補修事業 ・道路(基幹事業) 宝橋補修事業 ・道路(基幹事業) 楓橋歩道橋補修事業 ・道路(基幹事業) かもめ橋歩道改良事業 ・道路(基幹事業) 市道中央二河町線舗装整備事業 ・道路(基幹事業) 市道幸町1号線舗装整備事業 ・道路(基幹事業) 市道幸町海岸線舗装整備事業 ・道路(基幹事業) 市道中通1丁目1号線改良整備事業 ・地域生活基盤施設(基幹事業) (仮称)堺川駐輪場 ・地域創造支援事業(提案事業) 道路照明灯省エネ化事業
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

呉中央地区(広島県呉市)	面積	180ha	区域	幸町、三条、宝町、中央、中通、西中央、本町、本通
--------------	----	-------	----	--------------------------

